

# ふくたんアートニュース 2010年 暮夏号

No.32  
2010年 8月26日  
富山福祉短期大学 幼児教育学科  
(Tel 0766-55-5567)

【制作・編集】  
幼児教育学科  
造形研究室 (村田 透)  
E-mail: tmurata@te.urayama.ac.jp

## 『紙チップ団子でつくる 海の生きもの』(富山市立 中央児童館にて)



今回使った道具・材料は、シュレッターにかけた紙チップ、液体ノリ、水、海の生きものの絵(A4版)が主なものです。

子どもたちは、活動のはじめ、村田より海の生きものの種類や特徴について話を聞きました。その後、今回の活動でつくる海の生きものの絵を選びました。絵は「魚(二種類)」「カニ」「イルカ」「クジラ」「カメ」の6種類です。子どもたちの自分のお気に入りの海の生きものの絵を選ぶ際は、真剣そのもの。選んだ後、画板に貼り、ビニール袋をかぶせました。

次の活動は、シュレッターをかけた紙チップに水と液体ノリを混ぜて、紙チップ団子をつくることです。子どもたちは、ただの紙チップが水とノリを混ぜることで、クッキーやハンバーグの素の様にネバネバして、紙粘土の様に変化していく感触を楽しみました。

その後、できた紙チップ団子を自分の絵の上に平らに載せました。さらに、自分が表現したい海の生きものの色・形をイメージしながら、用意された色つき紙チップ団子(赤、青、黄、緑、黒)を何種類か選びました。子どもたちは、「こういう模様や色の海の生きものがいたら、楽しいな」ということを考えながら、色つき団子を使って、自分なりの海の生きものづくりを楽しみました。

学生スタッフは、いつもかわる保育所・幼稚園の子どもたちとは異なり、共通していたりする姿を直に感じる貴重な学びの場となりました。



### 『紙チップ団子でつくる 海の生きもの』を行ないました

日時:平成 22年 7月 31日(日) 10:00 ~ 12:00

場所:富山市立 中央児童館

対象者:小学生(1~3年生 20名)

スタッフ:教員1名、学生7名

(児童福祉専攻2年「総合演習(造形)」にて)

この活動は、富山福祉短期大学 社会福祉学科 児童福祉専攻2年の「総合演習(造形)」を選択した学生(7名)が授業の一環として準備して実践したものです。活動のねらいは、「活動テーマについてイメージを膨らませ、感じたこと・考えたことを自分なりに表現して楽しむ」です。

今年度は、富山市立 中央児童館のご協力をいただき、地域の小学生(1~3年生)を対象にして実施することができました。